

11月期に入るとすっかりと秋も深まり、最低気温が10℃を切る日も週一ペースで増していく印象です。リンドウ広場にほぼ一杯におだ掛けされていた稲の脱穀も進み、1本、また1本とおだが畳まれて、静けさの戻

る小山の田んぼは田作りの季節に入っていきます。それでもイノシシはしっかりと荒らしに入ってきました。彼らも真剣なのだろうが・・・困るな。

☆睡蓮田んぼ「古代米の脱穀」 2025年11月15日(土) 報告：赤シャツ親父

涼しい朝でしたが、良く晴れて、清々しい小春日和となりました。2台の足ふみ脱穀機は威勢よくフル回転し、睡蓮田んぼから収穫された赤米、緑米は一気に脱穀されました。当方はそれに負けじと必死に唐箕がけ、良い運動になった。やはり、実りは何れも良好に見え来るべく糶摺りが大変楽しみです。参加者大人5名

【谷津田・季節のたより】 2025年11月

＜下大和田町＞ 報告 平沼勝男

11/2 ヒクイナが同時に3羽鳴いていました。アオジは声のみで5羽以上確認。ハイタカが上空を通過。キタテハが羽を広げてひなたぼっこをしていました。 11/3 脱穀機の作動確認の間、メジロが鳴いていました。 11/16 谷津田は紅葉が見ごろでした。田んぼで刈り取った草の除去をしていたらヤマカガシが出てきました。

＜小 山 町＞ 報告 赤：赤シャツ親父、た：たんぼぼ、小：小泉勉、高：高山邦明

11/1 クチキコオロギの様な声(赤) 今季初めてアオジの姿を見る(高) 11/2 ツグミの声を初めて聞く、林のケヤキが色づく(高) 11/4 朝冷え込んで初霜が降りる(高) 11/5 ヤマガラすぐ近くに留まる(た) 11/6 シロハラないしアカハラの声を聞く(高) 11/7 畑で2羽のジョウビタキが追っかけ合い、縄張り争いか?(高) 11/8 モズの高鳴き、ジョウビタキの声(た) 11/10 アシ原でモズがアオジらしき小鳥を襲うが失敗(高) 11/11 今季初めてカシラダカとシメの姿を見る(高) 11/12 ツグミ6羽の群れがヒヨドリと一緒にカキの実を食べていた、今季はツグミの渡りが順調の様子(高) 11/15 田んぼにオスのキジが1羽死んでいた。狩猟解禁の初日でハンターが来ていたので手負いで逃げて田んぼで絶命したのか?(小) 11/17 メジロが3羽、コナラの幹で樹液をなめていた、日中、陽ざしの下でキタテハやヤマトシジミが元気に飛んでいた(高) 11/19 エナガ、メジロ、シジュウカラ、ヤマガラが混群を作って林を移動していてにぎやか(高) 11/20 稲刈りが終わった田んぼのあちこちでアキアカネが連結打水産卵(高) 11/21 田んぼの周辺に連結したオオアオイトトンボが多数訪れていた、マユタテアカネ、マイコアカネ、アキアカネの姿も(高)

【イベントのお知らせ】主 催：NPO法人 ちば環境情報センター

＜下大和田谷津田＞ 連絡先：小西 TEL. 090-7941-7655, E-mail: yatsudasukisuki@gmail.com

※12月13日に予定していた収穫祭は中止になりました。餅つきを1月12日に実施します。

・森と水辺の手入れ

日 時：2025年12月21日(日) 9時45分～12時 雨天中止

内 容：マイ田んぼ復活のための整備と森の木の伐採などを行います。

持ち物：長袖長ズボンの服装、軍手、帽子、飲み物、午後まで活動する方は弁当、敷物 参加費：無料

・第312回 観察会とゴミ拾い

日 時：2026年 1月11日(日) 9時45分～12時 ※第2日曜日の実施です 雨天決行

内 容：冬鳥の観察を中心に、鹿島川合流部まで巡ります。

持ち物：筆記用具、飲み物、長靴、帽子、ゴミ袋、敷物 参加費：100円

・第313回 下大和田YPP「新春 もちつき大会」

日 時：2026年 1月12日(月・成人の日) 9時45分～14時頃

場 所：下大和田谷津田

内 容：今年収穫した緑米で、臼と杵を使った本格的なもちつきをします。

持ち物：お皿、お椀、箸、コップなど

参加費：中学生以上500円、小学生300円

＜小山町谷津田＞

・小山町、小学区田んぼ活動「畦の整備」

来期に向けた田んぼの整備を行います。今季もイノシシによる被害が大きいため、週末不定期にて実施致します。

日 時：2026年1月期 主に土曜日10時～

場 所：りんどう広場

※上記参加ご希望の方は、赤シャツ親父 (e-mail: tomizo_i@nifty.com) までご連絡下さい。応援頂けると助かります。その他のお問い合わせは高山 (ceic.ypp.oyama@gmail.com) までお気軽にメールでご連絡下さい。

